

すすかけ

学校便り 7月号
令和元年7月25日
掛川市立第二小学校

教育目標 『夢に向かって 自分を磨く子』 重点目標 『やさしく伝え合おう 進んでやろう』

いよいよ始まる『チャレンジいっぱい夏休み』

入学式、始業式、新たな仲間、運動会、日々の授業など大きな変化と共に慌ただしく過ぎた73日間の学校生活が終了しました。この4か月間、子どもたちが目標に向かって仲間と協力したり、達成した喜びを味わったり、自分自身やクラスの問題等と向き合って成長したりしたことを誇らしく思います。本日、全クラスにすすかけ賞を渡しました。どんな歩みがあったのか是非聴いてあげてください。

様々な場面で子どもたちや学校を支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。明日から32日間の夏休みに突入します。普段では出来ないチャレンジ体験が心を豊かにします。御支援をよろしくお願いいたします。

4月から7月までの学校評価

お忙しい中、学校評価に御協力いただき、ありがとうございました。以下のような結果でしたので、報告させていただきます。

No.	内 容	数値目標	児 童	保 護 者
1	生活をよくするために行動している。	91%	89%	86%
2	学校が楽しいと感じている。	90%	90%	94%
3	困った時に相談できる先生がいる。(含担任以外)	92%	92%	90%
4	相手にわかるように話している。	90%	86%	85%
5	話を聴いて反応している。	90%	89%	90%
6	学習内容を理解している。	92%	91%	85%
7	友達を「さん」付けで呼んでいる。	85%	85%	88%
8	優しい言葉遣いで話している。	90%	93%	82%
9	気持ちのよいあいさつをしている。	85%	85%	78%
10	目標に向かって運動している。	90%	88%	75%
11	よい姿勢で勉強している。	75%	73%	62%

ほとんどの子どもが「学校生活を楽しい」「相談できる先生がいる」という数値が高かったことは嬉しい結果でした。その陰で40名程の子どもが楽しさを味わっていない、相談できる先生がいないという現実にも目を向けていかなければなりません。

一方、「相手にわかるように話す」「よい姿勢」については、保護者、児童共に評価が低いことから、夏休み明けも更に意識した対策を考えていきたいと思えます。

☆ 夏休み明けの8月27日には、全員元気で会えることを楽しみにしています。

特別支援教育だより 3 特別支援コーディネーター 松浦 崇

「好ましい行動に注目」

夏休みがスタートします。普段なら学校へ行っている時間に子どもが家にいるので、子どもの行動が気になることと思いますが、「ほめる」言葉かけも増やしたいものです。

「えらいね。」「いい子だね。」と漠然とほめると、認められている感じはしますが、「えらいくない自分はダメ。」「いい子でいなくちゃ。」という思いにさせてしまうかもしれません。「〇〇できていいね。」「〇〇してえらいね。」と行動を言語化してほめると、「〇〇することはいいことなんだ。」と、好ましい行動が子どもに伝わり、強化されます。

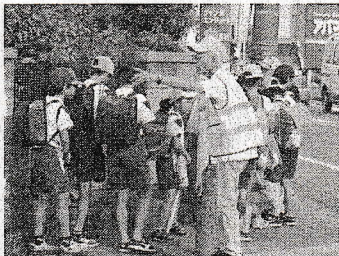
「叱られてばかりで、ほめるところがない。」「そのようなことはできて当たり前。」と思うことがあるかもしれませんが、でも、叱られていない場面はあるはずですし、ほめるものはあります。叱られて行動が改まったら、行動が修正できたことをほめることができます。「ぐずぐずしながら」でも、取り組んだことは評価できます。

「そんなことは当たり前」の行動でも、本人なりに意識しての行動かもしれません。「当たり前」の行動を「当たり前」として行動できるって、大したものです。十分ほめる対象になると思います。好ましい行動が増えれば、結果として好ましくない行動が減ります。子どもの好ましい行動、望ましい行動に、是非注目してあげてください。



外部講師・ボランティアさんありがとうございます。

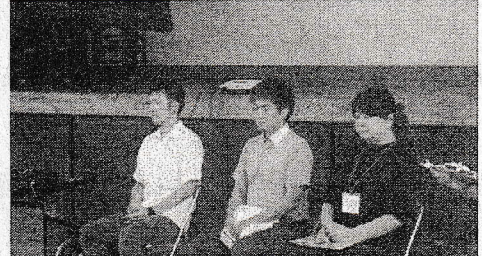
立哨ボランティア



1年防犯教室



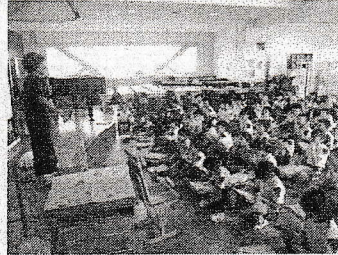
6年キャリア教育



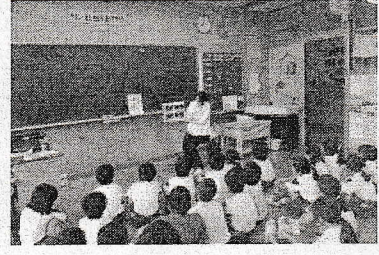
6年心肺蘇生法講習会



4年戦争体験講話



読み聞かせ



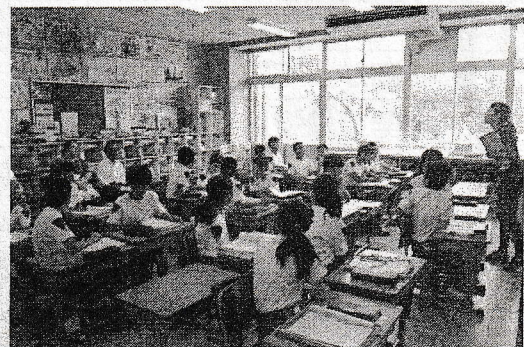
5年さやのもり

・とものもり園児との交流

5年生がさやのもりととものもりの園児と交流を行いました。5年生の優しさがたくさん伝わりました。



交通安全リーダーと語る会



教育委員会、市役所警察署、区長、まちづくり協議会、PTA役員と6年生が、通学路の安全について話し合いました。